

持続可能な地方の創生に向けて

1. はじめに

本県は、西は日本海に面し、三方を奥羽山脈、世界自然遺産の白神山地、鳥海山などの緑豊かな山々に囲まれ、風光明媚な男鹿半島や田沢湖、十和田湖を有するとともに、春の新緑、夏の空と海の青さ、秋の紅葉、冬の雪景といった色彩感あふれる四季の変化に富んだ自然環境に恵まれております。

また、17の伝統行事等が国の重要無形民俗文化財に指定され、その数は日本一を誇っております。中でも、「男鹿のナマハゲ」「角館祭りのやま行事」「大日堂舞楽」「土崎神明社祭の曳山行事」「花輪祭の屋台行事」はユネスコ無形文化遺産に登録されているほか、昨年7月には、「大湯環状列石」と「伊勢堂岱遺跡」が、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として世界文化遺産に登録されたところであり、このような地域に根ざした伝統・文化は全国に広く知れわたり、本県の貴重な財産になっております。

2. 夢と希望を持てる秋田の創生に向けて

この度、令和4年度から4年間の県政の運営指針として、時代の潮流やこれまでの成果と課題を踏まえつつ、新たな視点を加えながら、本県の更なる発展に向けて実施すべき施策を「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」として取りまとめました。

このプランでは、本県が目指す「高質な田舎」につながる概ね10年後の姿を見据え、「強靱化」「持続可能性」「存在感」「多様性」の4つの元気

を創造していくため、「賃金水準の向上」「カーボンニュートラルへの挑戦」「デジタル化の推進」の3つを、分野を超えた横断的な「選択・集中プロジェクト」として位置づけております。

新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックの影響などにより、時代の大転換期を迎える中、従来の発想にとらわれず、将来をしっかりと見据えた実効性の高い施策を展開し、人口減少問題をはじめとする諸課題の解決を図っていきたいと考えております。

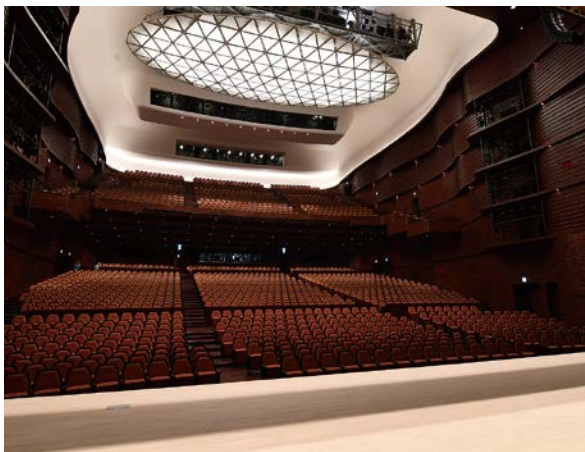
3. 県・市連携文化施設「あきた芸術劇場」

「あきた芸術劇場ミルハス」は、老朽化した秋田県民会館と大規模改修が必要な秋田市文化会館の二つの施設を継承する施設であり、「秋田の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく」ことを基本目標に、秋田市及び本県全体の文化振興と文化創造の中核施設として整備し、9月にグランドオープン致します。

本県では、人口減少と高齢化が進んでいる中、急激な社会変化に適応する必要があったため、平成21年度以降、県と市町村とで一体的な基礎的業務を共同化する機能合体や機能の相互補完などを進めてきました。これにより、連携・協働的な取り組み姿勢が共有されていたこともあり、本県の行政改革やまちづくりの視点を含め、老朽化した秋田県民会館の将来のあり方と、秋田市文化会館の耐震化や設備更新などの大規模改修が迫る中、文化施設を中心市街地へ協働整備する運びとなったものであり、共同で整備・運営管理を行うことで、県・市の財政負担の軽減にも繋がっております。



秋田県知事 佐竹 敬久



あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

4. 県・市町村共同の生活排水処理事業

本県の生活排水処理事業は、職員の減少、老朽化施設の改築更新需要の高まり、人口減少による使用料収入の減少など、事業運営において困難な状況が山積しています。

このような状況を踏まえ、県と市町村は平成22年度に「秋田県生活排水処理事業連絡協議会」を設立し、様々な取り組みを進めてまいりましたが、さらなる推進に向けて、令和元年に全国5例目となる下水道法上の法定協議会へ移行しました。

主な取り組みの一つとしましては、令和2年8月から供用を開始している秋田市単独公共下水道と県流域下水道秋田臨海処理センターの処理区統合です。事業の実施により、秋田市では改築更新費や維持管理費のコスト縮減を図ることができるほか、県流域下水道では、汚水量増加による収入増や処理原価の軽減が見込まれており、今後50年間で120億円のコスト縮減を図ることができる

と試算しております。

取り組みの二つ目としましては、汚泥処理の広域化です。県北地域では、3市3町1組合から発生する汚泥を県流域下水道大館処理センターに集約資源化する事業が令和2年4月から運用を開始している他、県南地域では、令和7年度の運用開始を目指して、4市2町から発生する汚泥を県流域下水道横手処理センターで集約資源化する事業を実施しているところです。

今後は、協議会を軸として業務の広域的支援や包括的管理委託などソフト面での連携を強化し、持続可能な生活排水処理運営につなげていきたいと考えております。

5. おわりに

本県では、人口減少をはじめとする諸課題の克服に向けて、「県民誰もが豊かさを実感できる秋田」の実現を目指すとともに、社会インフラの計画的な維持管理・更新に取り組んでおります。

本年8月には秋田市において、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が開催されます。同講習会の現場研修では、先述の県・市連携文化施設「あきた芸術劇場ミルハス」もご覧いただけます。

また、冒頭でご紹介をさせていただいたように、全国有数の自然環境を有し、歴史的建造物や遺跡、良質な温泉、多彩な伝統行事など、魅力的な観光資源が豊富であるほか、美味しいお酒や料理などの宝庫でもございますので、多くの皆様のご来県を心よりお待ちしております。